



INSTRUCTION MANUAL



Pure Passion

OF LISTENING

MYS-PH-3

CONTENT

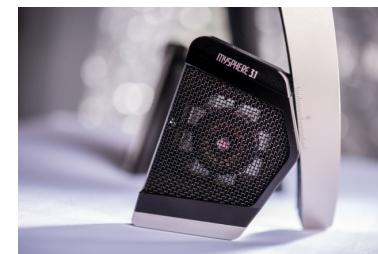
MYS-PH-3 をお選びいただきありがとうございます。

名機 AKG K1000 の血脈を引くハイエンドヘッドフォンをお届けいたします。

MYS-PH-3 デザインの構築と技術は、
いくつもの紆余曲折を経て達成されました。
時間を取って是非このヘッドフォンと向き合ってみてください。

このマニュアルは効果的にヘッドフォンを
ケアする方法、保証および交換の規定を
記載しています。

<u>最初に</u>	4
<u>機能</u>	5
<u>パッケージの内容</u>	5
<u>安全と使用環境</u>	6
<u>機能</u>	7
<u>プレミアム品質</u>	7
<u>コンポーネント</u>	8
<u>使用方法</u>	9
<u>ケア及びメンテナンス</u>	12
<u>保証規定</u>	14
<u>仕様</u>	15
<u>測定曲線</u>	16
<u>Contact</u>	17



最初に

MYSHERE 3のルーツとアイデアは、
当時、評判の良い企業のオープン両面ヘッドフォンが
「イヤースピーカー」と呼ばれ販売されていた
1980年代後半から始まっています。

最新の材料および設計技術、および
測定技術に基づき、ユニークな製品が作成されました。

長期的なユーザーの快適さと高レベルの音響性能を
両立した上で、録音された元のソースに近い音を
再現できる設計になっています。

ガラス、空気、樹脂で構成された新しい膜技術は、
高レベルの減衰と共に非常に高い剛性を実現します。

膜の弾性性能により、
これまでヘッドフォンの設計では達成できなかった
変位を伴う対称的な直線運動が可能になります。
この機能により、完全に裏側が
オープンなデザインであるにも関わらず、
低音域でも最高の音圧レベルが得られます。

放射状に完全に通気を確保したマグネット配置、
そして追加で特別に開発された音響抵抗器が膜に適用され、
その効果的な低質量は前例のない高い動的応答を
達成しています。

構造には「形態は機能に従う」という教義があります。
これは、前から後ろに伸びる革新的なヘッドバンドを用いて
トランスデューサーの耳への微妙配置を可能とすることで実
現しています。

これは、コンパクトなカスタム設計のパッケージに
効率的に簡単に収容できることにも
つながっています。

すべての材料、製品、およびそのパッケージングは、
耐用年数が長くなるように堅牢に設計されています。
「メイドインオーストリア」らしい
考え抜かれた製品です。



機能

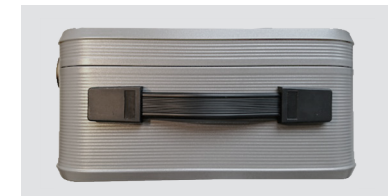
- > ワイヤードニアフィールドヘッドモニター
-「ホバーイヤー」耳の上でホバーリングし
背面が完全にオープンなトランスデューサーによる
ダイナミックな動作を実現しています。
- > 金属とプラスチックを用いた多層ヘッドバンド構造により、
自然なリスニング体験が得られます。
この設計アプローチは、ケーブルに沿って伝達されるノイズと同様に、
レシーバーの各側からの機械的振動伝達を減衰させます。
- > ハンドメイドのヘッドバンドとイヤーパッドは、
発汗が気にならず長時間のリスニングでも自然な快適さを
提供する卓越した通気性を持つ素材を採用しています。
すべてのパッドはマグネットで取りついているので、
工具を使わずに簡単取り外して交換および洗浄ができます。
- > 完全に対称的なケーブル設計レイアウトが両側に構成され
ているにもかかわらず、
超軽量かつ堅牢です。低キャパシタンスのケーブルを左右ど
ちらにでも接続できます。
- > トランスデューサーは、20金メッキ、完全換気、
放射状に対称に配置されたマグネットで構成されています。
多層構造の膜はガラス、空気、樹脂で補強された内部ダンピ
ングを備えており、
超音波領域まで共振のない高周波性能を実現します。



Premium Case with package contents

パッケージの内容

- > MYSPPHERE 3.1/3.2
(どちらかまたは両方)
- > 3.5 mm ジャック付きの標準接続
ショートケーブル
- > アダプター 6.25 mm/3.5 mm
3極ねじ込み式
- > 追加オプションケーブル
(オプション)
- > 以下を含むUSBスティック：
 - 操作マニュアル
 - 保証書
 - 読み出し曲線を含む製品測定データ
 - GTC、CE準拠
 - メンテナンス説明
- > 収納ボックス
- > クイック操作ガイド



Premium Case closed

安全と使用環境

- > 製品を使用する前に、マニュアルを注意深く完全にお読みください。今後の参考のためにこのマニュアルを保管してください。
- > ここに掲載されている安全上の指示に従い、このマニュアルを常に製品に同梱してください。
- > 製品が損傷している場合は使用しないでください。特にケーブルの損傷にはご注意ください。

Environmental Information



This product has been developed and manufactured in accordance with the following requirements or guidelines:

- > WEEE Directive (2012/19/EU)
- > CE conformity
- > RoHS Directive (2011/65/EU)
- > EMV Directive (2014/30/EU)

Dispose of this product at the end of its life at your local collection point or recycling centres. The detailed explanations are available on the Internet at www.lb-acoustics.at.

健康被害と事故を避けましょう

- > 過度の聴取音量レベルによる損傷のリスクから聴覚を保護してください。聴覚障害を防ぐため、ヘッドフォンを大音量で長時間使用しないでください。MYSPPHERE は、設計上、低および中音量でも自然で非常に良質な音質が得られます。

注意

1時間以上85 dBを超える音圧レベルでのリスニングは聴覚障害が発生する可能性があります。MYSPPHERE の非常にクリアで歪みのない自然なサウンドにより、高い音圧でも心地良く聴こえ、音量を上げてしまうことがあります。製品をプレーヤーに接続するときは、必ず最初に最低音量レベルに設定し、使いながらレベルを調節してください。これは、(銃声と同レベルの)最大 130 dB SPL に達するノイズによる損傷を避けるためです。

- > 車両の運転中にこの製品を使用しないでください。完全にオープンな構造のヘッドフォンですが、周りの音が再生音によってマスクされる可能性があるため危険です。使用国によっては禁止されている場合があります。同じ安全上の理由から、ランニングやサイクリングの際にも使用しないことをお勧めします。
- > ペースメーカーやFM無線機、磁気カード等から 10 cm未満の距離に近づくときは、MYSPPHEREを使用しないでください。

機能



空間表現

サウンドフレームは耳の上に浮かぶ完全オープンなデザインを採用しており、開いた前部クッションにより、サウンドが一方から他方へ、またはその逆に流れることができます。

これにより、バイノーラル録音の効果を伴った前例のない大きな空間表現が生まれます。



過渡応答

超軽量のコイルとクモの巣構造のグラスフォーム膜により、最速のインパルス再現が可能です。負荷音響の影響を減らすために、細い経路、スロット、穴などほとんどすべての不要な空気を回避した設計になっています。



オープンデザイン

可動する膜の両側の空間は完全に通気されています。音響ボリュームが膜の動きを妨げることはなく、フロントクッションは音響的にオープンになっています。これにより、思いがけない空間表現が生まれます。



革新的なフレーム構造

軽い金属フレームが柔らかいクッションを通じて頭部に圧力を伝え、非常に小さな比表面圧力を実現します。頭の敏感な部分はバイパスされ、ホバーリングサウンドフレームを乗せつつもしっかりと固定されたヘッドバンドが得られます。

プレミアム品質



オーストリアでの設計
・組立

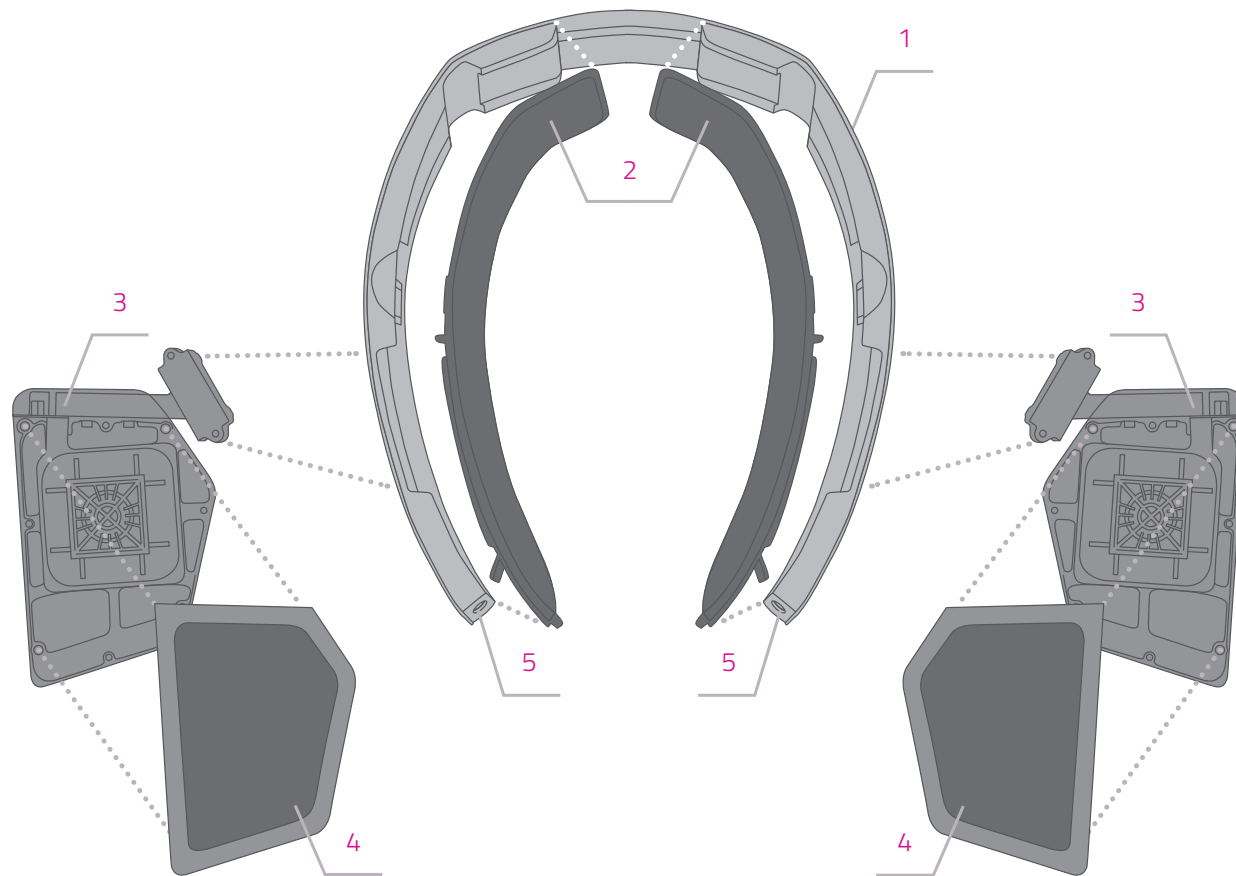


プレミアム素材

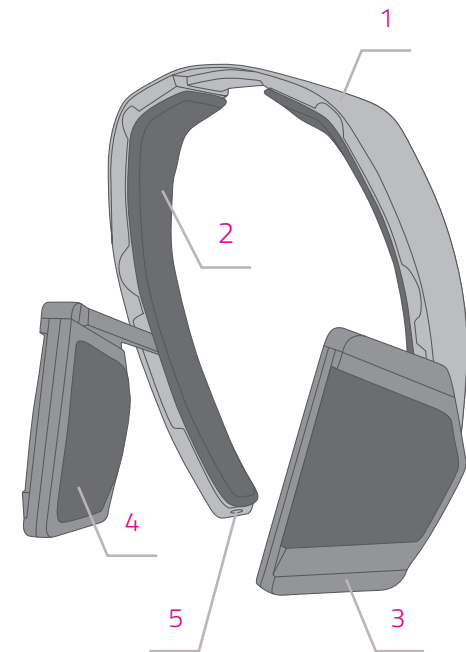


EU 製

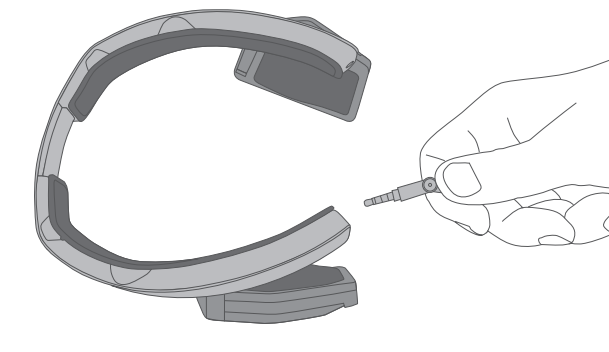
コンポーネント



- 1 ヘッドバンド
- 2 ヘッドバンドパッド
- 3 サウンドフレーム
- 4 サウンドフレームパッド
- 5 ケーブル接続穴

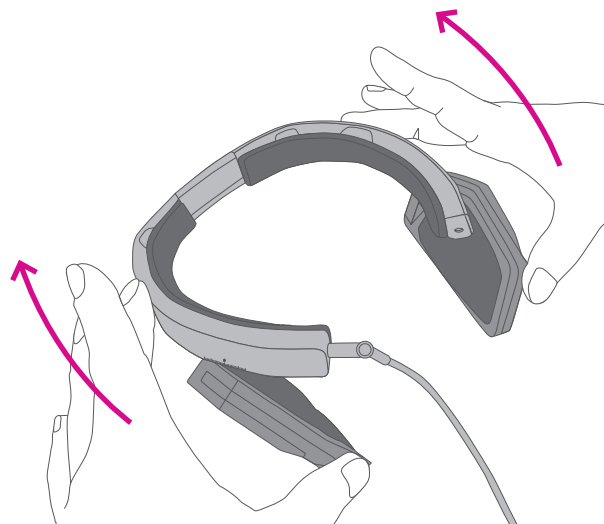


使用方法



ヘッドフォンを接続する

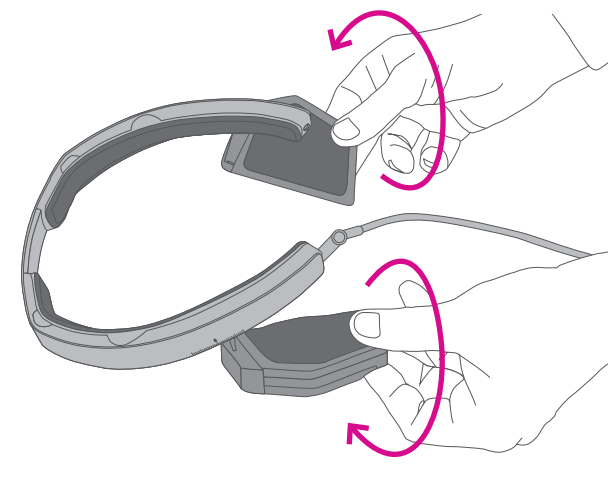
- > コネクターの所定の位置にカチッと収まるまで、ヘッドバンドの下端に 3.5 mm の角度45度接続の4極プラグを使用して、同梱の標準またはオプションのケーブルを挿入します。
- > 左右のチャンネルは、ヘッドフォンの独自の内部回路と完全に対称的な接続ラインによって自動的に適切に調整されます。
- > ケーブルのもう一方の端を適切な機器のヘッドフォン出力に差し込みます。



初めて使用する前の準備

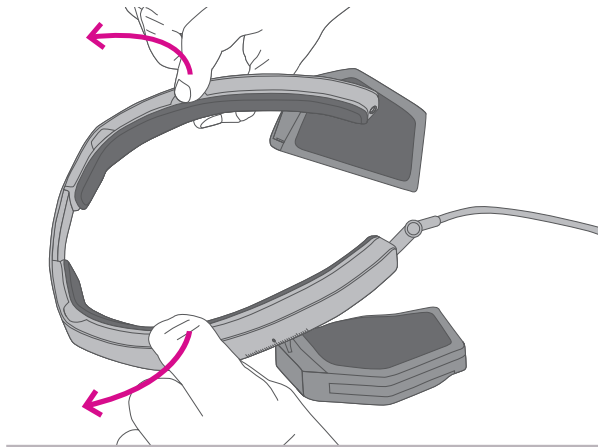
- I パッケージからヘッドセットを取り出し、金属製のヘッドバンドに沿って2つのサウンドフレームを上部奥まで押して移動させます。

これを行うには、ヘッドバンドを持ち、1本の指でバンドの中央上部を持ち、もう1本の指で2つのサウンドフレームを上を押します。



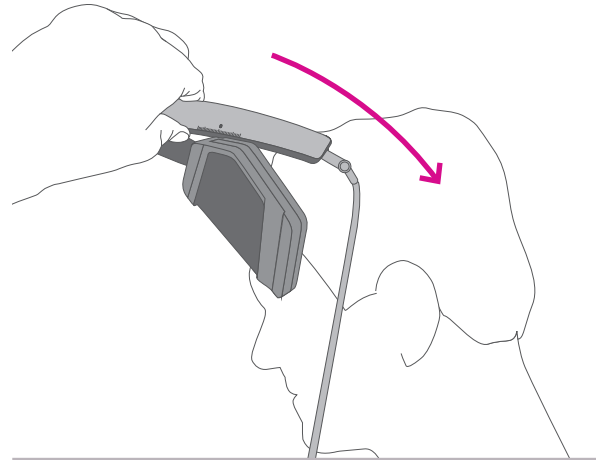
- II 2つのサウンドフレームを外側に開きます。人差し指と親指で図のように保持します。ストッパーが内蔵されているため、よけいに広がることはありません。

使用方法

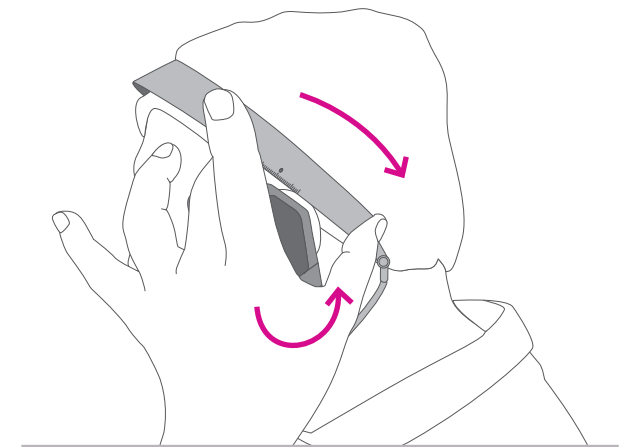


ヘッドフォンを装着する (1/2)

III ヘッドバンドのくびれの部分を使ってヘッドフォンを両手で人差し指と親指で挟みます。そして、頭よりも幅が少し大きくなるようにヘッドバンドを伸ばします。

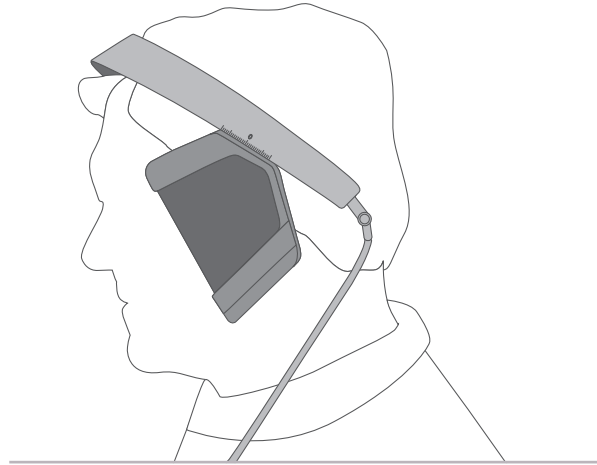


IV ヘッドフォンを前から後ろ斜めにスライドさせます。金属のヘッドバンドは額のすぐ上に置いてください。



V 2つのサウンドフレームを耳のほぼ中央にるように下にスライドさせ、かつサウンドフレームパッドを内側に傾けます。親指をヘッドバンドの端に置き、中指で2つのサウンドフレームを引き下げます。同時に、指の内面で2つのサウンドフレームを耳に近づけます。

使用方法



ヘッドフォンを装着する (2/2)

VI 耳への正しい位置調整は非常に重要です。個々に異なりますので、必ずしも耳穴の真ん中にある必要はありません。

したがって、最適な音の印象が得られるまで、既知の音楽を聞いて位置を色々と調整してみてください。

注：耳に対する角度は、主に低音の出方に影響を与え、「サウンドステージ」を変化させます。

調整用にノイズ信号を使用できます。「**rosa rausch.wav**」という名前の音声ファイルがUSBスティックに含まれております。

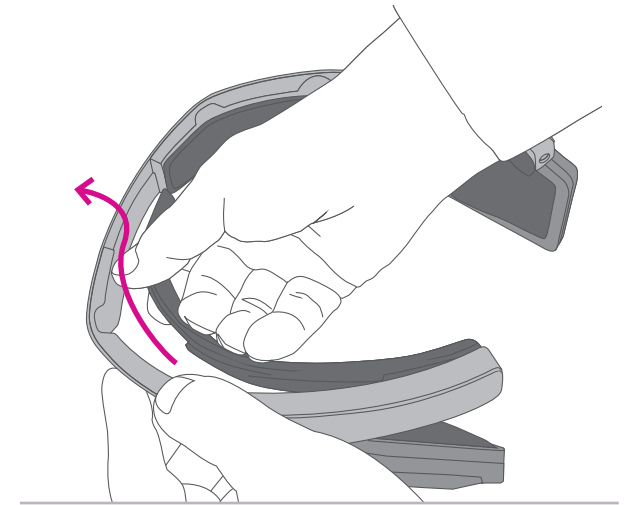
VII ヘッドバンドにおける2つのサウンドフレームの高さ位置は、ヘッドバンドに記載されたスケールで読み取ることができます。サウンドフレームレバーの内側には、目盛りを指す小さなエンボスの矢印があります。この位置は自然に必ずしも両側で同じである必要はありません。これは、左右の人間の耳が完全に対称ではないためです。将来のために最適な位置を記録し、メモしておく良いでしょう。

[Rosa Rausch.wav](#)

ケア及びメンテナンス



衛生上の観点から、サウンドフレームパッドとヘッドバンドパッドは石鹼水で洗浄するか、時々交換することをお勧めします。



ヘッドバンドパッドとサウンドパッドの取り外し/交換



このプロセスは、一方ではヘッドバンドパッドを取り除くために行いますが、2つのサウンドフレームをヘッドバンドから外す場合も同様です。



ヘッドバンドパッドの上部を内側に引っ張ります。同時に上向きに力を加えて、下側のラッチを外します。

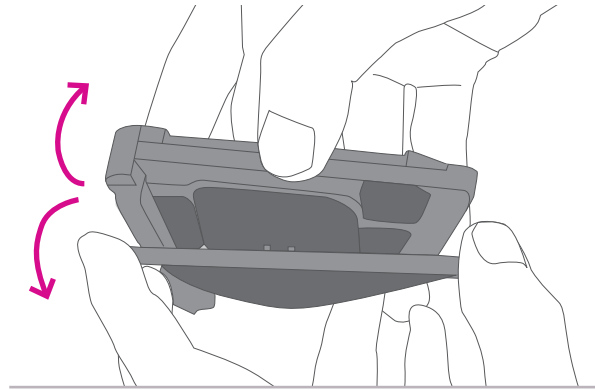


ヘッドバンドパッドが外れ、磁氣的に固定されているサウンドフレームを取り外すことができます（輸送を容易にする際にも利用ください）。



交換は逆の順序で行います。ヘッドバンドパッドを組み付けるときは、まずパッド下部にある斜め下向きのフックを、最初にヘッドバンドのスロットに差し込んでください。次に、くぼみにパッドを合わせます。ヘッドバンドのくびれにあるサウンドフレームのすぐ上を押します。パッドがはっきりと聞こえるクリック音が聞こえるまで押してください。ヘッドバンドにしっかりと固定されます。

ケア及びメンテナンス



サウンドフレームパッドの取り外し/交換

I 指の爪を使用して、それぞれの下部の尖った端部分を持ち上げて、磁気的に固定されたサウンドフレームパッドをはがします
磁気固定を外すために少し力が必要です。

II 再組み立ては、取り外しと逆の順序になります。その際は、クッションとサウンドフレームシェル間に隙間が見えないように、サウンドフレームパッドの周縁部を再び軽く押す必要があります。
組み立てをサポートするように内蔵のマグネットが配置されています。

保証規定

- > このヘッドフォンは、高品質のオーディオシステムで使用するために設計および製造されています。
この製品が操作マニュアルに記載されている方法と異なる方法で操作された場合、保証対象から除外されます。
- > 保証期間は、領収書に記載されている新品未使用製品の購入日から始まります。
領収書がない場合の修理は、別途費用が発生いたします。
- > 3年の保証期間中に材料または製造上の欠陥に起因する製品の欠陥が発生した場合、LB-acousticsMessgeräteGmbH は、人件費と材料費を計算せずに製品を修理するか、製品自体または欠陥部品を交換します。
- > 国内法が当社の保証と矛盾しないすべての国で保証を世界中で使用できます。
ここに記載されている以外の請求は、保証の対象外です。
- > 保証請求の場合は、次の電子メールアドレスでご連絡ください: info@bright-tone.com
- > 保証から除外されるもの:
製品価値や意図する用途に関係のないわずかなエラーまたは欠陥。
摩耗による欠陥。不可抗力による欠陥。
修理として行われた場合でも、お客様自身または第三者が行った製品の修理。
- > LB-acoustics は、製品の誤用または不適切な使用（例えば、操作エラー、機械的損傷、誤った動作電圧など）、および追加の機器/アクセサリーの損傷に対する責任を負いません。
- > 返品失敗または破損のリスクは弊社で対応できません。
輸送中の損傷を防ぐため、元のまたは同等の効果的な保護パッケージを使用してください。
そのような場合のためにも元のパッケージの保管をお勧めいたします。



仕様

	MYSPPHERE 3.1	MYSPPHERE 3.2
周波数範囲	20 – 44,000 Hz (-10 dB ニアフィールド)	
使用時の周波数範囲	耳の基準点で線形の周波数範囲、 個々の拡散フィールドで異なります	
定格連続電力	60 mW RMS (ピンクノイズ)	
感度	96 dB / 1 mW RMS = 115 dB SPL/V eff. (耳の基準点上)	
公称インピーダンス	15 Ω	110 Ω
遠距離音圧	1 kHz で通常 -33 dB SPL rel. 1 PA (拡散フィールド条件で)	
耳への圧着	ホバーリング	
磁場	通常 1.5 T	
重量	約 340 g (ケーブル除く)	
接続	3.5 mm ジャック 4 極	
ケーブル長さ	標準：長さ 1.2 m 3.5 mm ジャック3極金メッキ+ 6.25 mm アダプタ ねじ込み式	
	オプション：長さ 3.5 m 3.5 mm ジャック3極金メッキ+ 6.25 mm アダプタ ねじ込み式	
	オプション：長さ 3.5 m 4 極 XLR 金メッキ	
	オプション：長さ 1.2 m 4 極 2.5 mm ジャック金メッキ	
使用中の環境条件	+10°C ~ +35°C	
保管条件	-10°C ~ +60°C	

解説

- > LB-acoustics では、MYSPPHERE 3.1 / 3.2 をニアフィールドで測定しています。
個々の人間の頭と耳のジオメトリに対応するオープンなデザインであるため、
結果として耳での調整が必要なラウドスピーカーの使用と同様のシナリオに合わせています。
- > 定格連続電力は、
恒久的な損傷を受けることなく、ヘッドフォンを連続して操作できる電力です。耳の痛みが発生する音圧が容易に発生する可能性がありますのでご注意ください。
- > インピーダンスは、すべての周波数で平均化された電気抵抗です。
- > 遠距離音圧とは、通常のリスニングルームでは、
イヤホンが人に装着されたときに1メートルの距離で別のリスナーが知覚できる音量です。
- > 接続は、組み込みの 3.5 mm 4 極プラグと次の配線で行われます：
チップ+左、リング1+右、リング2-右、背面リング-左
- > すべてのカスタムメイドの標準ケーブルは、銀メッキの無酸素 (OFC) 銅線でできており、8本の細い単線で構成されています。
これらは、低キャパシタンスとインダクタンスを実現するために絡み合っています。
ケーブルは柔らかくて裂けにくい生地で覆われています。

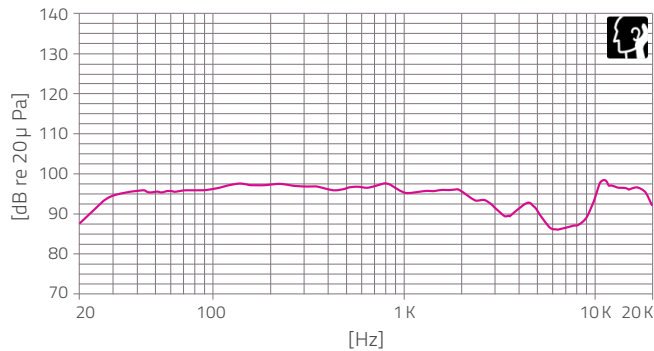
測定曲線

説明

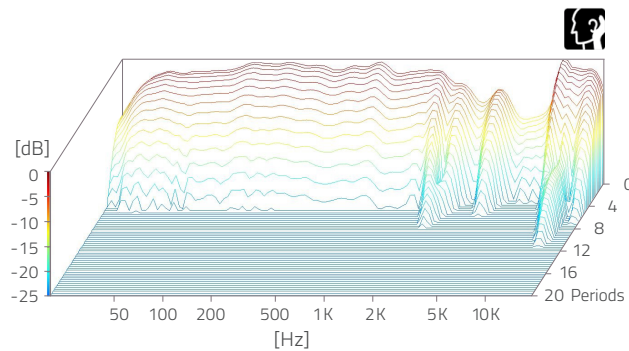
> 周波数応答:MYSHERE3.1 / 3.2はオープンリスニング用に最適化されています。最も関連性の高い測定値は、リスナーの近距離場で発生する測定値です(測定値E)。ただし、これは耳で発生する「近接効果」を考慮せず、主に低音レベルの深さに影響します。この効果は、(測定A)で示されています。

> ステップ応答とインパルス応答の測定は、製品の速度を示しています。ここで、ステップ応答(測定C)は耳で再度測定され、インパルス応答(測定D)は近距離場条件で測定されます。> 周波数の関数としての振動数の測定値は耳で測定され、(測定B)で示されます。> インピーダンスと位相応答は、使用するMYSHERE製品ごとに異なります(測定F)。

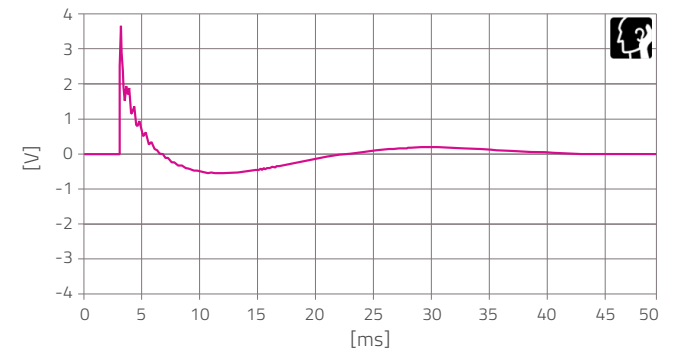
A) 耳補正を加味した周波数応答



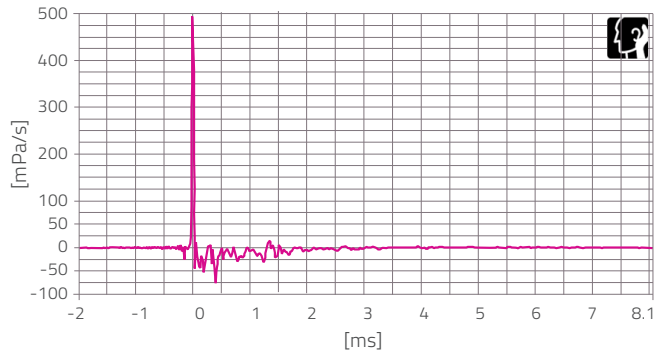
B) バースト減衰



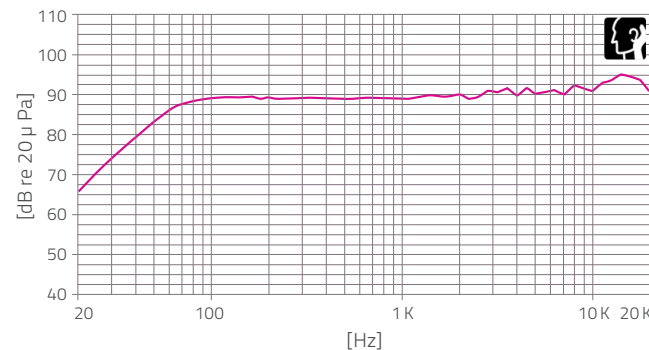
C) ステップ応答



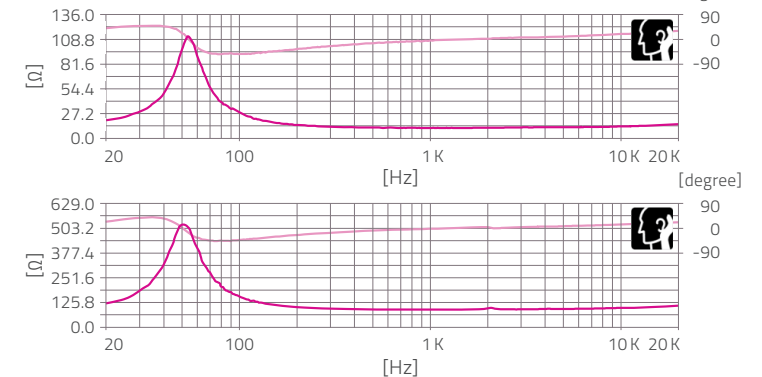
D) インパルス応答



E) ニアフィールドでの周波数応答



F) インピーダンスと位相 (上:3.1、下:3.2)





CONTACT

LB-acoustics Messgeräte GmbH
Bahnsteggasse 17–23/Stiege 1
1210 Vienna, Austria
ATU 52464907
FN 213131d

www.mysphere.at
www.lb-acoustics.at
office@lb-acoustics.at

Subject to modifications.
Issued April 9th, 2018